

2020年7月14日
東海旅客鉄道株式会社

高山本線及び飯田線の被災状況並びに運転再開見込みについて

「令和2年7月豪雨」により被害を受け、一部区間が不通となっている高山本線及び飯田線について、被災状況の調査を進めておりました。このたび、調査結果がまとまりましたので、被災状況の概要及び現時点における運転再開見込みについて、以下のとおりお知らせいたします。

1. 被災状況

別紙のとおり

2. 運転再開見込み

(1) 高山本線

○飛騨萩原駅～飛騨小坂駅間、渚駅～高山駅間

7月20日（月）始発までに運転再開の見込みです。

※7月16日（木）から、主に定期乗車券・普通回数乗車券をお持ちのお客様を対象に、同区間にてバスによる代行輸送を行う予定です。

○飛騨小坂駅～渚駅間

国道41号で大きな被災があり、隣接する当社の設備も被災しました。

現在、道路管理者と当社が連携して、当該区間の復旧計画を進めております。

運転再開時期は決まり次第お知らせいたします。

(2) 飯田線

○水窪駅～平岡駅間

運転再開まで約3ヶ月を要する見込みです。

※天候の状況等により、運転再開時期やバス代行輸送が変更となる場合があります。

※より詳細な運転再開時期が決まり次第お知らせいたします。

3. その他

(1) 高山本線

・特急「ワイドビューひだ」は、本数を減らして、名古屋駅～下呂駅間及び高山駅～猪谷駅間の運転を再開しております。

・下呂駅～高山駅間の普通列車は、バス代行輸送（飛騨萩原駅～飛騨小坂駅間、渚駅～高山駅間）を含めて列車のダイヤを変更して運転いたします。

（詳細は別途お知らせいたします。）

(2) 飯田線

・特急「ワイドビュー伊那路」は全線運転再開まで全列車全区間を運休いたします。

・不通区間を除く全区間にて普通列車は通常どおり運転いたします。

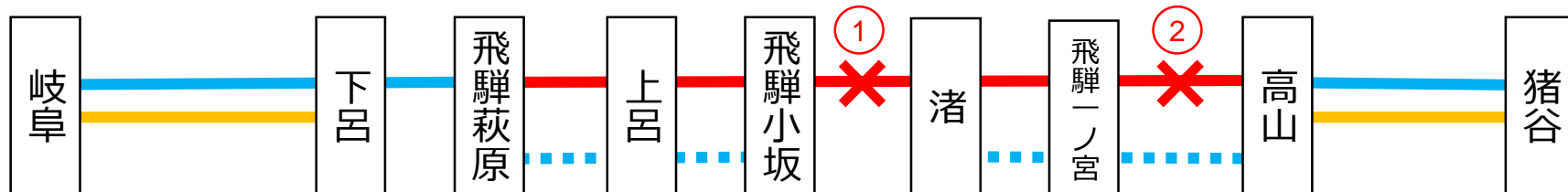
列車の運転区間やダイヤ変更、バス代行輸送などの運転計画の詳細は当社ホームページ（<https://jr-central.co.jp/>）でお知らせいたします。

別紙

高山本線の被災状況・運転状況等

【7月14日現在の運転状況】 —— 列車運転区間 —— 不通区間 —— ワイドビューひだ運転区間

【7月14日現在の運転計画】 ⋯⋯ 7/20始発より運転再開（7/16からバス代行輸送を実施）

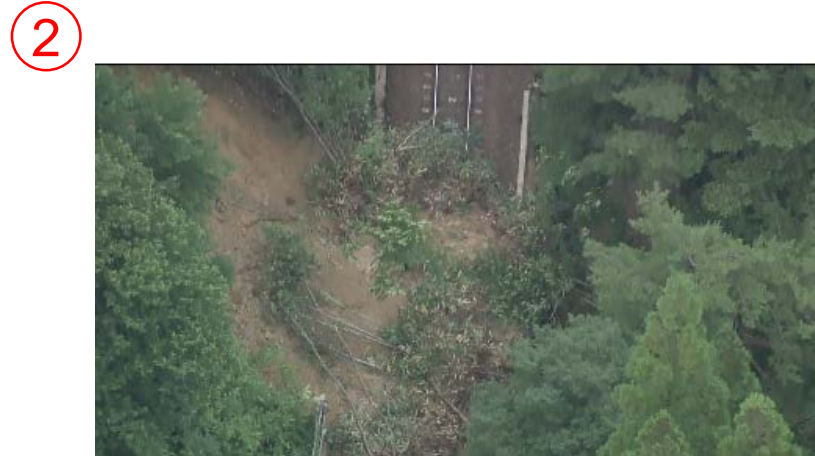


○復旧中の被災箇所（8箇所） ※この他、4箇所は復旧済

区間	箇所数	被災内容
飛騨萩原～上呂	2箇所	土砂流入
上呂構内	1箇所	土砂流入
飛騨小坂～渚	4箇所	線路擁壁下部の露出、土砂流入、道床流出、電気設備損傷
飛騨一ノ宮～高山	1箇所	土砂流入、電気設備損傷



飛騨小坂駅～渚駅 111km600m付近
河川増水による線路擁壁下部の露出



飛騨一ノ宮駅～高山駅 130km800m付近
土砂流入 線路長約16m 約150m³

別紙

飯田線の被災状況・運転状況等

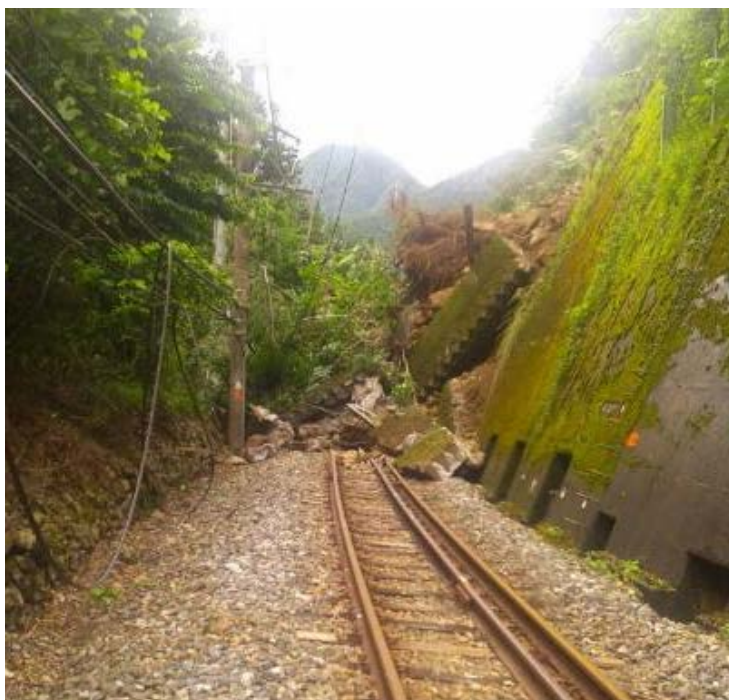
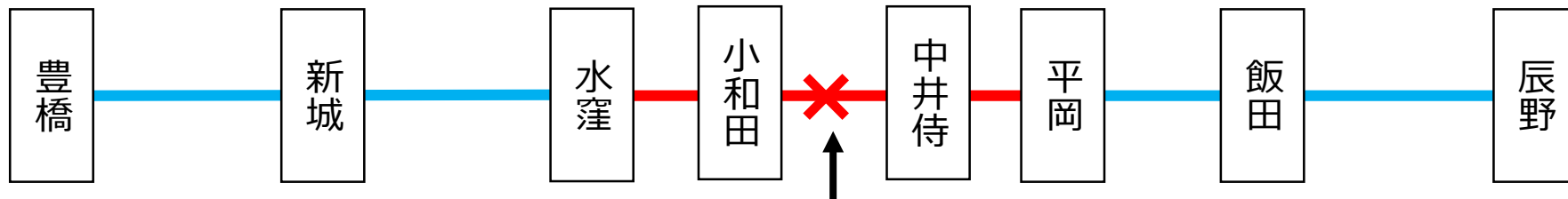
【7月14日現在の運転状況】



列車運転区間



不通区間



○復旧中の被災箇所（1箇所） ※この他、3箇所は復旧済

区間	被災内容
小和田～中井侍	斜面崩壊（線路長約35m・約850m ³ ） 電気設備損傷